## 2021年度公開研究会

オープニングセッション

▼ 大学入試センター理事長裁量経費による研究プロジェクト

「入学定員管理の厳格化の影響に関する多角的検討」

目的と課題

**学大正大学** エンロールメント・マネジメント研究所福島 真司(研究統括)日下田 岳史



柳浦猛



大学入試センター理事長裁量経費による研究プロジェクト

## 「入学定員管理の厳格化の影響に関する多角的検討」について

#### プロジェクトメンバー:

研究代表 山地弘起 大学入試センター 研究開発部 教授

研究統括 福島真司 大正大学 エンロールメント・マネジメント研究所 所長/教授

安田賢治 株式会社 大学通信 情報調査・編集部 ゼネラルマネージャー/常務取締役

日下田岳史 大正大学 エンロールメント・マネジメント研究所 専任講師

岡本眞一郎 武南高等学校 進路指導部 教諭

**大沼敏美 山形城北高等学校** 校長

柳浦 猛 筑波大学 教学マネジメント室 准教授

**研究期間:**2021年度~2023年度(予定)

2020年度から関連の研究を総括する動きをスタートし、<u>『大学入試研究の動向』第38号で特集</u>を行った。その後、研究チームを組成し、2021年度に大学入試センター理事長裁量経費の研究プロジェクトとして、正式に採択された。当該研究プロジェクトとしては、<u>私立大学の動向にフォーカスし、大学、高等学校、専門企業のアナリスト等の外部機関の研究者・実務家を</u>加えた初めてのプロジェクトである。





大学入試センター理事長裁量経費による研究プロジェクト

## 「入学定員管理の厳格化の影響に関する多角的検討」について

#### 研究目的:

入学定員管理の厳格化が始まって6年が経過した現時点で、<u>その影響過程と大学および高等学校の対応状況を総</u> <u>括</u>し、知見を広く共有するとともに、今後の定員管理含め入学者選抜に係る政策のあるべき姿を検討する。

#### 研究概要:

2016年度以降の<u>入学定員管理の厳格化は、設置主体を越えて多くの大学に影響</u>を与えてきたと考えられるが、とくに<u>三大都市圏の私立大学では、入学難易度の上昇や受験生の現役志向・安全志向の高まりなど大きな変化</u>が生じたといわれる。このことは、大学の経営面・教学面の双方で迅速な対応を要することになる一方で、<u>高等学校でも受験生と志望先との適切なマッチングが困難になる</u>ことを意味していた。もっとも、こうした現象は、<u>首都圏とそれ以外の地域では異なる様相</u>を呈している可能性があるうえ、<u>入学定員管理の厳格化が本来意図した地方創生に寄</u>与しているかどうかも不明である。そこで本研究は、以下の3点を明らかにすることをめざす。

- (1) おもに三大都市圏及びその周辺での受験動向の変化
- (2) 入学者の質的変化と教学面の対応の具体(学力に応じた教育方法の修正や学修支援など)
- (3) 高校生の進路選択状況の変化

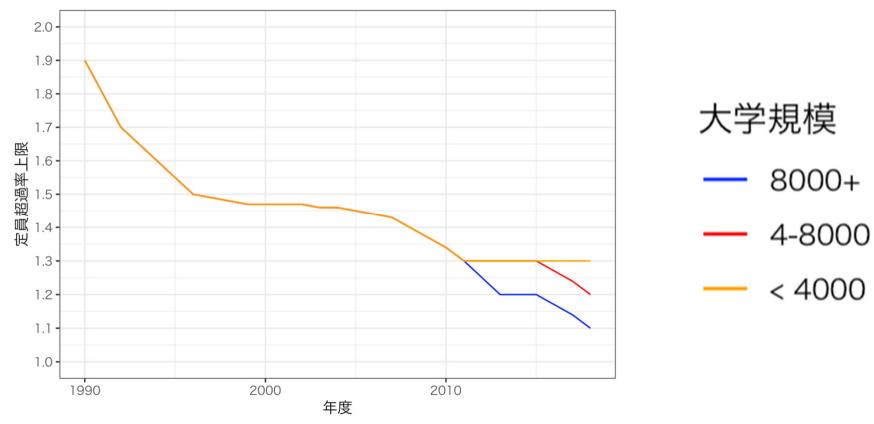
・・・そもそもの18歳人口の減少、現役志向・安全志向の広がり、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う地元志向のさらなる高まり、家計の悪化による出願校数の減少等の影響も当然ながら加わっている・・・



- 「入学定員充足率が上限を超えたら私学助成不公付」というルールが適用される率を、収容 定員規模別に振り分けた(大規模大学では2012年から、中規模大学では2016年から実施)。
  - ▶ 現在言われている「定員厳格化」とは、2015年7月に通知され2016年から実施されている政策をさしている。
- 入学定員充足率が上限を超えていなくても、率が1.0倍を超えた学生に見合う分の私学助成減額措置をとるという大学への「脅し」(2015年7月通知、2019年実施予定。実際には実施されず)。
- 学部新設のための基準の1つとされる過去4年間に亘る「平均入学定員超過率」が、大学収容 定員規模・学部入学定員規模に応じて細分化され、かつ、厳格化された(2015年9月通知)。
  - ▶ 学部新設を予定している学校法人は、場合によっては、私学助成が不交付となる基準よりもさらに低い水準に 入学定員充足率を抑える必要に迫られることになった。
  - ▶ 都市部の大学を中心として、定員超過への規制が本格化する前の駆け込み申請がなされたと考えられている。 (前一平, 2017, 「東京23区における私立大学等の定員抑制一東京一極集中の是正と地方大学の振興一」『立法と調査』395, pp.99-112。)
- ・ 東京23区内において、2018年度の収容定員増を認めない(2017年9月特例告示)。
- ・ 2021年以降10年間は、東京23区内の学部の収容定員増加を認めない(2021年9月法律施行)。



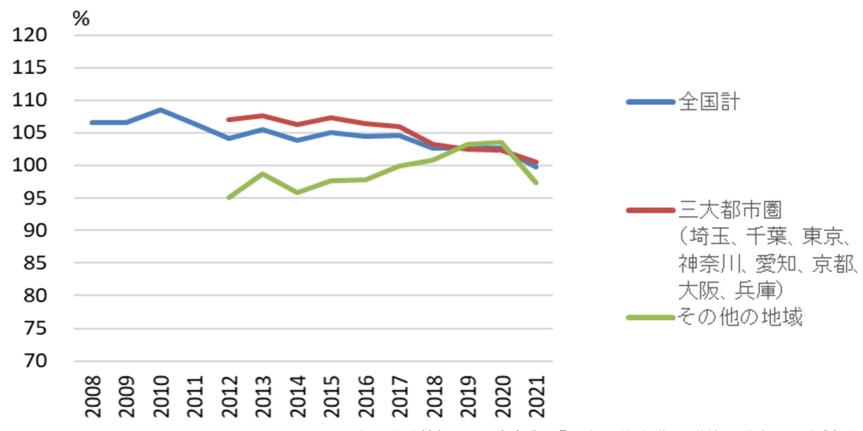
補助金不交付となる入学定員超過率の上限(1990-2018)



文部科学省高等教育局、日本私立学校振興・共済事業団「平成28年度以降の定員管理に係る私立大学等経常費補助金の取扱について(通知)」より作成



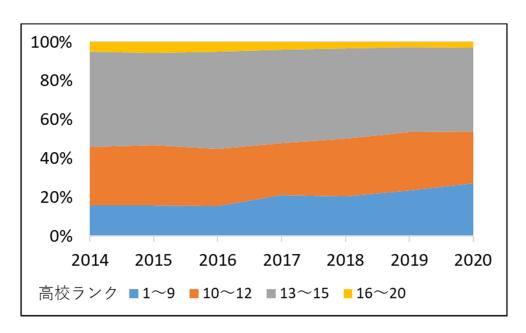
私立大学の所在地域別・入学定員充足率(2008-2021)



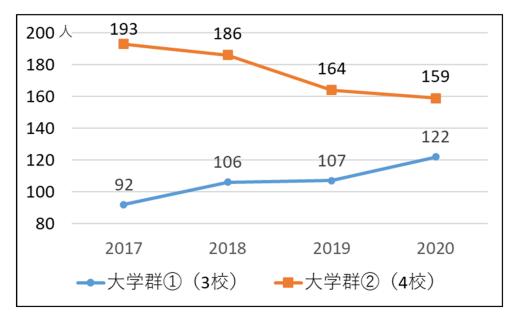
日本私立学校振興・共済事業団『私立大学・短期大学等入学志願動向』各年度より作成



A大学の経験(東京23区に所在する中規模私立大学)



A大学入学者の出身高校ランク構成比

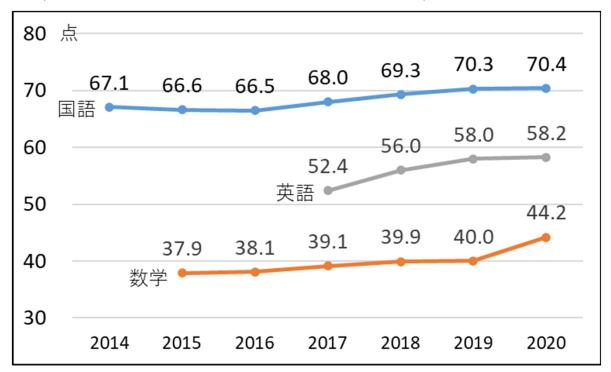


A大学入学者にとっての第1志望大学 (入試難易度は、大学群②よりも①のほうが高い)

日下田岳史・福島真司, 2021, 「私立大学における『トリクルダウン現象』の検証」『大学入試研究ジャーナル』31, pp.226-231.



A大学の経験(東京23区に所在する中規模私立大学)



A大学入学者が入学直後に受検する基礎学力調査の平均点 (英語は300点満点のため、平均点を3で除した値を表示している)

日下田岳史・福島真司, 2021, 「私立大学における『トリクルダウン現象』の検証」『大学入試研究ジャーナル』31, pp.226-231.



### 「厳格化政策とは何か?」という問いに答えるための3つの課題

## 本研究における3つの視点

- 1. 政策目的は実現したのか?
  - ▶ 「地方から大都市圏の大学へ」という進路を考えていた受験生が、進路を本当に変えたのか?
- 2. 定員超過の是正(教育環境の改善)は、当事者たる受験生や大学生に対してどのような影響を与えるのか?
  - ▶ 入試偏差値が高い大学・学部ほど、進学・卒業から得られる経済的利益は大きいという傾向がある。 (妹尾・日下田(2011)によるレビューを参照のこと)
  - ▶ 入試偏差値が高い大学・学部に入学できたかもしれない人が、入学できなくなる。
  - ▶ 「アンダーマッチング」という視点
- 3. 「アンダーマッチング」によって生じる波及効果はあるか?
  - ▶ 一般選抜や大学共通テスト選抜の難易度が高まることによって生じる波及効果があるかもしれない。



#### 【引用文献】

日下田岳史・福島真司,2021,「私立大学における『トリクルダウン現象』の検証」『大学入試研究ジャーナル』31,pp.226-231. 前一平,2017,「東京23区における私立大学等の定員抑制一東京一極集中の是正と地方大学の振興一」『立法と調査』395,pp.99-112. 妹尾渉・日下田岳史,2011,「『教育の収益率』が示す日本の高等教育の特徴と課題」『国立教育政策研究所紀要』140,pp.249-263.

#### 【政策に関する参考文献】

文部科学省,2015,「大学、大学院、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準の一部を改正する告示の施行について(通知)」. 文部科学省,2019,「大学、大学院、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準の一部を改正する告示の施行について」.

文部科学省・日本私立学校振興・共済事業団,2015,「平成28年度以降の定員管理に係る私立大学等経常費補助金の取扱について(通知)」. 文部科学省・日本私立学校振興・共済事業団,2018,「平成31年度以降の定員管理に係る私立大学等経常費補助金の取扱について(通知)」.

日本私立学校振興・共済事業団、『私立大学・短期大学等入学志願動向』各年度.

進研アド,2015,「大学の定員超過抑制のため、私学助成不交付基準を厳格化」 http://between.shinken-ad.co.jp/univ/2015/09/post-6.html

進研アド,2019,「文科省が学部新設申請時の定員超過率要件を改訂、次年度認可分から適用」

http://between.shinken-ad.co.jp/univ/2019/12/shinsetsu.html

(※) URLは、2022年2月15日時点。



に関する多角的検討」の一環として開催するものです。

私立大学の入学定員管理の機棒化が始まって 6 年が経過しました。この制度が始まった当初は、三大都 市圏の私立大学に対する影響が大きく、特に東京 23 区内の私立大学の受験信塞が上昇し、首都圏の高等 学校の進路指導現場に大きな影響をもたらして、受験生・保護者の現役志向・安全志向の高まりなどの変 化を生じさせたとも言われています。一方で、2020 年度入試以降は、新型コロナウイルスの感染拡大に 伴う地元志向のさらなる皇まりや、家計の悪化による出業校数の減少、また、そもそもの 18 歳人口の減 少に現役志向・安全志向から浪人生の減少も加わり、私立大学の受験倍率は軒並み低下しています。 2022 年に入り、再びコロナ禍の影が大学入試にも影響を与えつつありますが、今後の大学入試はどの

ように変わっていくのでしょうか。 本研究会は、定員管理厳格化の影響を大きく受けた首都圏の高等学校から事例報告を行い、専門企業の アナリストから見た私立大学入試の今後について知見を共有し、両者のディスカッションを通して、定員 管理協格化、コロナ福、高大接続改革等の影響と高等学校の対応状況を維持し、如見を広く共有すること

を目的として開催いたします。 多くの高等学校の先生方等のご参加をお待ちしております。

開催方法 ZOOMウェビナー

参加費

500名

15:00-15:15 オープニングセッション

研究プロジェクト 「入学定員管理の厳格化の影響に関する多角的検討」の目的と課題 ーマクロデータからわかってきたことー

大正大学 /エンロールメント・マネジメント研究所 福島真司所長(教授)[研究統括] 同 日下田岳史専任講師

筑波大学 / 教学マネジメント室 柳浦猛准教授

15:15=16:00 セッション1 首都圏の高校現場では何が起こっているのか

報告① 千葉商科大学附属高等学校 報告② 埼玉県立川口北高等学校 菊川理教諭 田中こずえ教諭

報告③ 東京都立田柄高等学校 /3学年主任 瀬島昭克主幹教諭 報告③ 武南高等学校 /連路指導部 岡本眞一郎教諭

16:00-16:30 セッション2 アナリストがこれからの大学入試を読み解く

報告① 大学通信 /情報調査・編集部 安田賈治ゼネラルマネージャー(常務取締役) 報告② 代々木ゼミナール /教育総合研究所 佐藤雄太郎所長

報告③ ベネッセ /文教総研 村山和生主任研究員

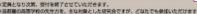
16:30-17:30 セッション3 ディスカッション

ファシリテーター:大学入試センター /研究開発部 山地弘起教授

#### ●加申込 申込締切日:2月15日(火)

参加申込サイトからお申し込みをお願いいたします。 本公開研究会の「参加申込及びお問い合わせ窓口」である 大正大学エンロールメント・マネジメント研究所が運営している wob フォームです。

https://emir01.tais.ac.jp/web\_form/?form\_id=81 ※定局となり次第、受付を終了させていただきます。



大学入試センター理事長裁量経費による研究プロジェクト 「入学定員管理の厳格化の影響に関する多角的検討」



## 2021年度公開研究会の開催

2022年に入り、再びコロナ禍の影が大学 入試にも影響を与えつつありますが、 今後の大学入試はどのように変わっていく のでしょうか。

定員管理厳格化の影響を大きく受けた 「首都圏の高等学校からの事例報告」 「アナリストから見た私立大学 入試の今後」を共有し、両者のディスカッ ションを通して、定員管理厳格化、コロナ 禍、高大接続改革等の影響と高等学校の対 応状況を総括し、知見を広く共有すること を目的として、本研究会を開催いたします。